

平成30年度授業改善アンケート「学びのリテラシー（1）」

Q1 平成29年度前期に実施した学生からの授業評価アンケートをもとにして、授業改善を試みましたか。

- | | |
|----------------|----|
| 1. 改善を試みた。 | 4 |
| 2. ある程度改善を試みた。 | 14 |
| 3. 特に変わらない。 | 1 |

Q2 以下の項目について、授業改善を試みた点について記載してください。

1. シラバス

- ・「日本語表現」を減らし「思考の深め方」を増やした。

2. 内容・課題の量

- ・グループワークを増やし、課題を分担させるようにした。
- ・学生が教員に出すメール、人口減少など身近な問題、社会的問題を課題に多く取り入れた。
- ・最終レポートの分量を昨年度の2000字から、目標として4000字とした。ある程度の分量をこなす経験をさせたいとの思いからだ、学生にとっては負担であったようだ。
- ・「対話する／議論する」の会を新設し、学生をグループに分け、演習時間を増やした。
- ・ICTの活用を力を入れた。また、中間レポートを導入し、課題の量を増やした。
- ・内容をより具体的に伝えるよう心掛けた。よって量はあまり変えていない。

3. 内容・課題の難易度

- ・難易度は変更せず、内容及び課題をより実践的なものとした。
- ・PowerPointを最近の資料を導入して改良した。
- ・学生への課題については、負荷をやや重くし、課題可決への意欲的な取り組みを促した。
- ・講読する文献（実践研究論文）について、最新のものにした。
- ・課題、内容をより具体的に伝えるよう心掛けたため、難易度は変えていない。

4. 成績評価基準の明確さ

- ・初回の講義で明示した。

5. 授業の進め方

- ・受動的な内容を能動的な内容（グループ討論等）とした。
- ・説明の時間が長くなりすぎないように、取り組みやすい演習を何度もはさみながら行った。
- ・学生同士で課題の内容、書き方を校正させた。
- ・演習の時間を十分に取るよう、さらに配慮した。
- ・当初、授業4回分を個人発表として予定していたが、初回の発表予定者が他の授業でのグループ発表とバッティングすることとなったため、授業3回分で全員が発表するように変更した。
- ・グループ作業の成果として提出させたパワーポイントを添削して返却し、可能な限り修正・再提出するように指導した。
- ・全体発表に向けて、担当教員（全4名）がそれぞれグループを指導する中で、問題設定から、リサーチ、まとめ、プレゼンまで継続的にアドバイス等重視していった。
- ・自己テーマの設定の時期を早めた。
- ・グループワーク中は、学生達の自発的な発言を引き出せるよう、教員はファシリテーターとして活動した。
- ・個人的指導を多くした。

6. 学生とのコミュニケーション

- ・担当教員を可能な限り2名とし、対話型の講義に努めた。
- ・これまでよりも個別に話しかけるよう工夫した。
- ・各グループの人数を減らした。
- ・各教員がグループを担当し指導することで、密なコミュニケーションが生まれてきた。
- ・積極的に声をかけた。
- ・図書館での自己学習中、教員から個々の学生へ積極的に話しかけるようにした。
- ・個人的指導をより多く取り入れたため、コミュニケーションが多くとれた。

7. 説明の分かりやすさ

- ・PowerPoint資料をできるだけ配付し、図表を手元に残るようにした。
- ・18歳の若者と活字、言葉との関係は年々変化していくので、改めて考え、説明方法を調整した。
- ・スケジュールをあらかじめ&複数回にわたって板書で伝えた。
- ・参考文献の調べ方、書き方を丁寧に説明した。
- ・本講座で作成したテキストブックをデータ配信し、資料の補強もすることで改善させた。
- ・学生が行うプレゼンテーションの目的を明確にした。
- ・資料に、昨年度の学生から出た質問内容を反映し、より分かりやすくなるよう工夫した。
- ・より具体的に伝えるよう心掛けた。

8. 質問の機会

- ・講義時間残り5分前を目安に質問時間を設けた。
- ・授業後に5～10分程度質問の時間を設けた。授業中に質問ができる時間を2～3回設けた。
- ・個人指導をより多く取り入れたため、個人的質問も多く受け入れることができた。

9. 板書等の見やすさ・視聴覚教材等の活用

- ・プロジェクターを活用するとともに、重要な内容は板書するようにした。
- ・一部、書画カメラを利用（基本はスライドと板書）
- ・学生が行うプレゼンテーションのスクリーンを大きくした。
- ・授業に係るアンケートの配付物をMoodle上にも掲載した。
- ・発表はパワーポイントで行った。

Q3 Q2の項目以外で、特に意識して改善を試みたことを、ご自由にお書きください。

- ・これまで以上に、学生に発言してもらう機会を増やした。
- ・実験レポート作成のための参照教材を変更した。
- ・スマホ等を利用する演習を増やした。
- ・最後の3回分の個人発表（プレゼン）では、自分の発表が終わってしまうと緊張感が緩みがちになるので、他の学生の発表に注目させるために、毎回、採点表に記入させた。
- ・個人発表用の最終提出レポートへの添削が、教育上最も効果的ではないかという感触を持っている。そのため、授業の終了後ではあるが、添削のための時間の取れる9月中～下旬に、全員分の添削を行う予定である。来年度はそれがアンケートにも反映されるように、あらかじめ受講生に周知して進めたいと考えている。
- ・ここで得た「リテラシー」が、美術、教育の問題を考える上で活用できるように、全体発表（最終のまとめ課題）のテーマについて、学生と相談しながら、ある程度教師側で方向づけをした。
- ・従来グループごとに担当教員を置いたが、教員の出張等で不在となることがあったため、2人の教員のペアでグループを担当することとした。
- ・個人指導をより多く取り入れ、全てにおいてより具体的に伝えるようにした。